

令和5年度
滋賀県ソーシャルワーカー
3団体合同研修

滋賀県医療ソーシャルワーカー協会

滋賀県精神保健福祉士会

滋賀県社会福祉士会

後援 滋賀県

孤独・孤立に支援者はどう向き合うか
～アウトリーチと伴走型支援の視点から～

日時 3月3日(日)
13:30～16:00 (13:00受付開始)

場所 県立長寿社会福祉センター
特定非営利活動法人
スチューデント・サポート・フェイス

講師 谷口 仁史 氏

受講料 無料

対象者

- ✓主催3団体の会員および入会資格のある方
- ✓学生
- ✓滋賀県内において孤独・孤立対策に関連する業務に携わっている方
(行政機関、教育機関、居場所事業、生活困窮者支援等)

お申し込み方法

こちらのフォームからお申し込みください
<https://forms.gle/7VuU3vQWXY5frm9s7>

最新のお知らせ等はこちらに掲載します
本講座に関する開催変更等の最新情報は
こちらのブログに掲載します。
<http://blog.livedoor.jp/fukushi2017/>

問い合わせ先

公益社団法人 滋賀県社会福祉士会
TEL: 077-561-3811 FAX: 077-561-3835
Mail: shiga2944@sirius.ocn.ne.jp



開催趣旨

孤独・孤立の状態は、社会の活気や幸福度の低下を招くだけでなく、各人の心身に対しても有害な影響を与え、社会全体で取り組む必要のある課題です。

令和6年4月1日施行の孤独孤立対策推進法でも、社会のあらゆる分野での取り組みが重要であるとされており、特に対人援助を業とする支援者については、率先して取り組むことが求められます。

先駆的な取り組みを実践している講師から、孤独・孤立対策の理念および実践について講義を受け、参加者の実践力の向上を図ることを目的としています。

講師紹介

特定非営利活動法人 スチューデント・サポート・フェイス
代表理事 谷口仁史 氏

PROFILE一佐賀大学文化教育学部卒業。在学中からボランティアで不登校、ニート等の状態にある子ども・若者へのアウトリーチ（訪問支援）に取り組む。卒業後、大学教授ら有志を募り「NPOスチューデント・サポート・フェイス（略称S. S. F.）」を設立。

令和5年3月末日現在、委託事業を含む約68万件を超える相談活動、約12万5千件を超えるアウトリーチに携わった他、市民活動団体を含む幅広い支援機関とのネットワークの構築や「職親制度」等社会的受け皿の創出、執筆や講演活動など多彩な活動を通じて、社会的孤立・排除を生まない支援体制の確立を目指している。

近年はその実績が認められ公的委員を歴任。

アウトリーチに関しては、「若年者向けキャリア・コンサルティング研究会」、「高校中退者等アウトリーチワーキンググループ」で委員を務めた他、生活困窮者自立支援法に係る、社会保障審議会「生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会」（厚労省）、子ども・若者育成支援推進法に係る「子ども・若者育成支援推進点検・評価会議」、「こども政策の推進に係る有識者会議（内閣官房）」等政府系委員も務め、全国的な取組の推進に貢献している。（スチューデント・サポート・フェイス ホームページより）



滋賀県ソーシャルワーカー3団体について

ソーシャルワークとは、基本的人権の尊重と社会正義に基づき、福祉に関する専門的知識と技術を用いて、生活上の困難や悩みをかかえる人に寄り添い、その人と共にその困難や悩みの解決を図り、一人ひとりの幸福と自立した生活を支援することです。そして、このような支援を行う社会福祉専門職のことをソーシャルワーカーと呼び、わが国ではソーシャルワーカーの国家資格として社会福祉士と精神保健福祉士が定められています。

（ソーシャルワーカー宣言より）

滋賀県にはソーシャルワーカーの代表的な専門職団体として、主に医療ソーシャルワーカーで組織された滋賀県医療ソーシャルワーカー協会、精神保健福祉士で組織された滋賀県精神保健福祉士会、社会福祉士で組織された滋賀県社会福祉士会の3団体があります。

今回のように合同で研修会を開くなど、連携しています。

一般社団法人滋賀県医療ソーシャルワーカー協会
<http://www.shiga-msw.org/>

滋賀県精神保健福祉士会
<http://shiga-psw.org/>

公益社団法人滋賀県社会福祉士会
<http://www.shiga-csw.org/>

日本ソーシャルワーカー連盟
<https://jfs.org/>